

第16回高知県木の文化賞

木造建築物及び木造建造物の部

北川村温泉ゆずの宿

所在地: 北川村

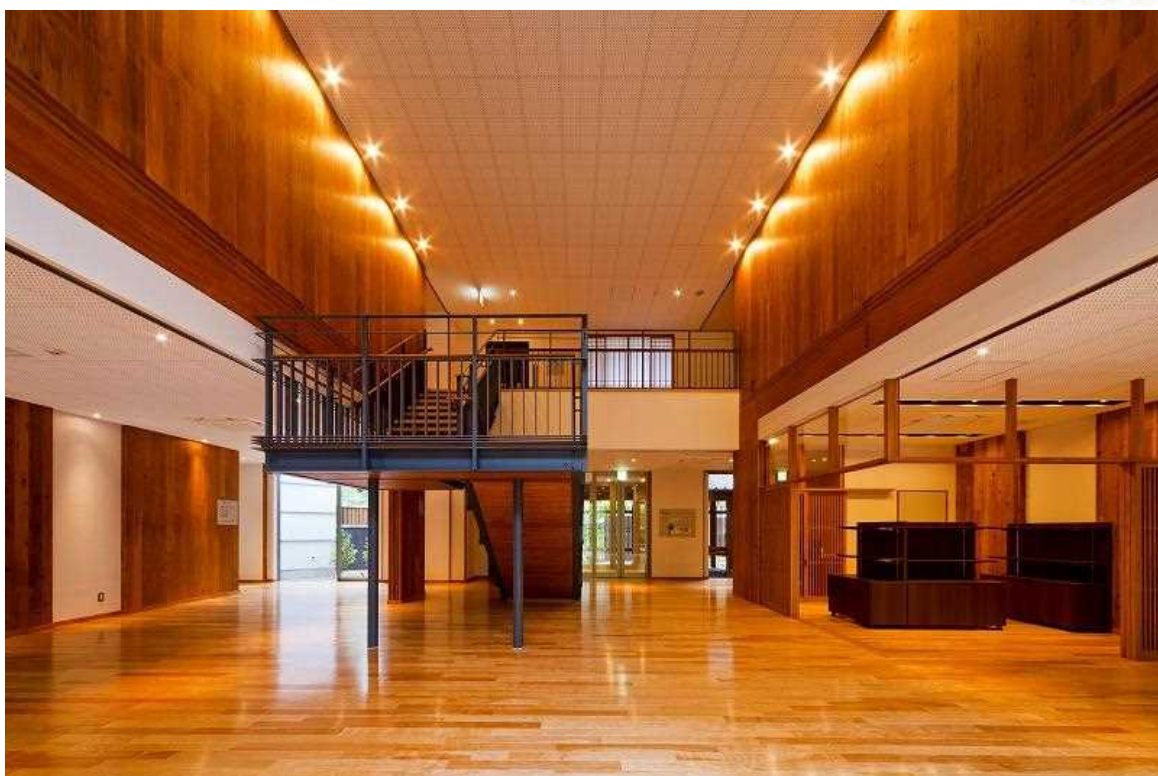
●発注者: 北川村

●設計者: 株式会社 倉橋建築計画事務所

●施工者: 株式会社 田邊建設



木の文化県
こうち



高知県

施設の概要



■完成時期:平成30年5月

新しく生まれ変わった「北川村温泉ゆずの宿」は、使用された木材のほとんどが高知県産材であり、そのうち半分が北川村産材となっています。CLT工法で建設された温泉施設としては国内初となっています。

同施設の特徴は、CLTパネルによるウォールガーター(壁梁)工法により長スパンの梁構造が可能となり、宿泊のできる温泉施設として必要な2階に壁が多く1階に壁の少ない構成を実現し、1階に広い空間を確保しロビー、ラウンジ(144.39m²)と併に湯上がり後のくつろぎ空間として湯上りラウンジ(93.87m²)を同一空間に設置しています。

同施設の眺望は、南側のロビー施設等からは、奈半利川と旧森林鉄道の赤鉄橋が眺められ、日本遺産に指定されたゆず香る里と森林鉄道の風景が一望できます。浴室棟からは、ゆずの生産地である里山ののどかな景色を眺めて長時間の入浴ができるよう工夫されています。

また、地域材によるCLTを活用したモデル施設として整備され、周囲の自然環境との調和を活かしつつ、CLTの強靭さにより自由空間を達成しており、まさに木の文化を満喫できる施設であり、木の文化賞にふさわしいものとなっています。

選 評

- ・ウォールガーター工法による長スパン構造による開放的な空間を生み出している点
- ・ウォールガーター工法等、CLTの技術で1階は空間を広くし、CLT材の見せ方にも工夫する等々を評価
- ・木造だけれど、強そうで安心して宿泊できる、CLTを見い出してうまく使っている点

